



総務省

新年あけましておめでとうございます



近畿総合通信局長 奥 英之

新年おめでとうございます。

本年も、「ICTで関西を強く豊に安全に」を目指し、次の施策に取り組んでまいります。

地方創生、地域の成長戦略の促進と安心・安全なICT利活用環境の整備

ICTを活用した生活・防災基盤の整備促進、産業競争力の強化やICT研究開発関連施策の推進として、「G空間シティ構築事業」の活用による世界最先端のG空間防災モデルや先進的・先導的なG空間利活用モデルの実証事業を実施していきます。

また、グローバルコミュニケーション計画として、産学官連携による多言語音声翻訳技術の社会実装に向けた活動を支援します。さらに、放送コンテンツの海外展開促進によりインバウンド観光と地域産業の振興を促進いたします。

安心・安全なICT利活用環境の整備では、「e-ネット安心講座」の内容を充実し、「スマホ連絡会」による連携と普及啓発活動を取り組みます。併せて消費生活センター等との連携により消費者トラブルの解決支援を行ってまいります。

大地震・津波に強い情報通信インフラの構築

阪神・淡路大震災から今年で20年となりますが、現在関西地域では、南海トラフ巨大地震の発生が懸念され、災害情報の確実かつ迅速な伝達が求められているところです。このため防災行政無線の整備促進、公衆無線LAN環境の整備、L-アラートの導入と円滑な運用を目指した取り組みや通信・放送ネットワークの強じん化を推進してまいります。

地上デジタル放送の対策完了等の取組強化

地上デジタル放送の暫定的な難視対策衛星放送と地上デジタル放送受信のための国の支援事業が、本年3月末までに終了するため、残りの難視世帯に対して全力で取り組みを実施いたします。

また、管内のケーブルテレビ事業者のデジアナ変換サービスも2月から3月までに順次終了することから、デジアナ変換で視聴の方に、地デジを視聴するための周知等を継続していきます。

また、新たな放送として「4K・8K放送」並びに「V-High及びV-Lowマルチメディア放送」の普及促進と円滑な導入に向けた取り組みを行ってまいります。

高度な電波利用の促進と良好な電波利用環境の整備

高度な電波利用では、パーソナル無線の特定周波数終了対策を始めとする700/900MHz帯の周波数再編に引き続き取り組むとともに、電波利用の拡大等を通じた我が国社会・経済の活性化を目指し、中長期的な電波政策ビジョンの実行に取り組んでいきます。

また、不感地域対策として、地方自治体等と連携し携帯電話基地局の整備も引き続き努めてまいります。

電波利用環境の整備では、重要無線通信妨害への即時対応、違法な無線局や不要電波による混信妨害への適切な対応、捜査機関との共同取締り強化のほか、未然防止策としての周知広報活動に取り組んでまいります。

引き続き、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

